

平成27年度～平成31年度  
公益財団法人立川市地域文化振興財団  
**中期経営計画**

---

Public Interest Incorporated Foundation  
Tachikawa Community & Culture Foundation  
Medium-term management plan





# 公益財団法人立川市地域文化振興財団

# 理念と行動指針

## 理 念

市民が人や地域との絆を深め、  
笑顔あふれる心豊かな生活を送るために、  
私たちは文化芸術活動を広め・育て・支えます

## 行 動 指 針

- 未来へ文化をつなぐ子どもたちの、  
感性をみがき優しいところを育てる環境を整えます
- 多くの市民が心のやすらぎと明日への活力を得られるよう、  
さまざまな文化芸術事業に取り組みます
- 文化芸術活動の主演としてより輝けるよう、市民の想いを支えます
- 市民に信頼される専門組織として、  
文化芸術を振興するための知識や技術を身に付けていきます

# 目次

1. 計画策定の趣旨	1
(1) 計画策定の背景と目的	
(2) 計画の期間	
2. これまでの財団のあゆみ	1
3. 財団の現状と課題	4
4. 基本方針と施策の体系	6
5. 実施項目	7
【事業部門】	
〔市民が文化芸術に触れる環境の整備〕(鑑賞事業)	
〔未来を担う子どもたちの感性を育む〕(普及事業)	
〔文化芸術活動に取り組む市民の支援〕(市民参加型事業・支援事業)	
〔さまざまな情報発信の充実〕(広報PR活動)	
〔人と人を結ぶ地域コミュニティの醸成〕(地域コミュニティ振興事業)	
【財務部門】	8
〔将来の健全な財務運営を確保〕	
【組織と人材育成部門】	8
〔文化芸術振興の専門機関として役割を果たす〕	
6. 重点取り組み項目	9
《未来を担う子どもたちの感性を育むため、様々な事業を展開します。》	
《文化芸術活動に取り組む市民を支援し、文化の香りあふれる「にぎわいとやすらぎの交流都市たちかわ」をめざします。》	
《文化芸術振興の専門機関としての役割を確実に効率よくはたすため、人材を育成し、組織の強化を図ります。》	
7. 財団の未来と可能性について	10
資料編	12

# 1.計画策定の趣旨

## (1)計画策定の背景と目的

財団法人立川市地域文化振興財団は立川市の外郭団体として昭和63年に設立され、市民会館を活動の拠点に市民の文化芸術活動、地域コミュニティ活動の推進役として実績を積み重ねてきました。

平成23年には新公益法人制度改革によって公益財団法人立川市地域文化振興財団(以下「財団」という。)への移行を果たし、続く平成26年度からはそれまでの指定管理者としての役割を民間の事業者へ引き継ぎ、名実共に地域の文化芸術振興の専門機関へと歩みだすこととなりました。

この間立川市は目覚ましい発展を遂げ、多摩地域の中心として多くのひとが訪れる交流都市となりました。

平成27年度から立川市では新たな第4次長期総合計画と第3次文化振興計画がスタートしており、市の文化芸術振興の実行部隊である財団においても、発展する立川のまちに文化で彩を添えられるよう、中期経営計画を策定することとしました。

この中期経営計画により、財団の使命と役割、またそれを確実に実行するための組織とはどのようなものであるかを明確にすることで、今後の財団運営の指針となることを目的とします。

## (2)計画の期間

平成27年度から平成31年度までの5年間

(立川市第4次長期総合計画の前期、第3次文化振興計画と同様の期間とする。)

# 2.これまでの財団のあゆみ

財団は昭和63年4月18日の設立以来、立川市民と立川を訪れる多くの人々を対象とした様々な事業を展開してきました。

その間、文化芸術に対する市民のニーズは年々多様化し、それを取り巻く社会の情勢も刻々と変化する中、数々の新規事業に取り組み、新たに与えられた役割にも積極的に対応してきました。

★は新規に開始した事業

## ■立川文化発展の担い手として出発(昭和63年～平成5年度)

昭和63年4月当初から市民会館での鑑賞事業のほか、スポーツ・レクリエーション、地域コミュニティの振興事業などに取り組みました。また、平成2年からは市民会館の管理運営を受託しました。

昭和63年 財団設立、情報紙「ザ・ムーサたちかわ」第1号発行(8万5千部発行)

平成元年 ★新春たちかわ寄席

- 平成2年 市民会館の管理を受託
- 3年 ★「塩の道」ハイキング(ハイキング事業開始)
- 4年 財団シンボルマーク公募、市民会館愛称公募「アミューたちかわ」に決定  
 ★「たちかわ演劇祭」(TAMAらいふ21)  
 ★「立川市民オペラ『カルメン』」(TAMAらいふ21)
- 5年 設立5周年事業「スイート・ジャズコンサート」等開催  
 ★「多摩フレッシュ音楽コンクール」(TAMAらいふ21)、★子ども凧上げ大会

## ■様々な市民参加事業に取り組む(平成6年～平成17年度)

東京多摩移管100周年記念事業「TAMAらいふ21」を契機に実施した立川市民オペラ、たちかわ演劇祭、多摩フレッシュ音楽コンクールを継続させたほか、アートギャラリー展を開催するなど市民参加型事業を充実させました。

また、ロビーコンサートや出前コンサートなど普及型の事業をスタートしました。

- 平成6年 「世界こども音楽祭」開催、★「たちかわアートギャラリー展」
- 7年 ★「アミュー水曜コンサート」、立川市民オペラ「ラ・ボエーム」開催
- 8年 立川市児童合唱団設立、★アミュー・クラシック音楽館
- 10年 設立10周年記念事業「ピアニストたちの饗宴」等開催(饗宴シリーズ開始)
- 11年 ★「高齢者のつどい」事業受託、★「アィム寄席」
- 12年 情報紙「ムーサ」リニューアル(50万部発行へ)、★ホームページ開設
- 13年 設立15周年記念事業「アミュー・ハートフルライブ」等開催  
 ★アミューセット開始、★青春のグラフィティ、★小学校演劇体験事業
- 14年 「合唱から学ぶ、市民オペラ学校」開校(3ヵ年事業)
- 15年 アミュー水曜コンサート100回達成、★コミュニティ・コンサート(どこでもステージ)
- 16年 立川市民オペラ「カルメン」開催(市民オペラ学校修了公演)
- 17年 フェアレ立川アート修復再生事業(2ヵ年事業)  
 ★一人親家庭招待、★声のムーサ・点字ムーサの製作と配布、「ピアノ決戦in立川」開催

## ■指定管理者制度の下で事業を拡大(平成18年～22年度)

市民会館での事業の増加を進めたほか、大規模イベントの「立川よいと祭り」、「楽市」の事務局を担当し、様々な団体と良好な関係を構築しました。

- 平成18年 市民会館指定管理業務を受託(5年間)  
 ★アミューリラックスランチタイム(市民ロビーピアノ自動演奏)

- 19年 立川市民オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」「道化師」開催、★「笑ホール寄席」
- 20年 設立20周年記念事業「20周年記念展示」等開催、  
★立川市と国立音楽大学の連携協力に関する協定締結記念コンサート
- 21年 立川市民オペラの会設立、立川市民オペラ「アイーダ」開催、  
「楽市」(たちかわ楽市)、「立川よいと祭り」事務局担当開始
- 22年 市民会館の指定管理者業務再受託(3年間)、  
立川市役所移転、新庁舎落成記念事業「吹奏楽の祭典」開催、★姉妹市大町交流事業受託

## ■公益財団法人として再出発(平成23年～26年度)

文化芸術振興の専門機関として、子ども対象の事業や市役所ロビーコンサートの開始など、公益性の高い事業の充実を図りました。

- 平成23年 公益財団法人へ移行、立川市民オペラ「トゥーランドット」開催、  
アミュー水曜コンサート通算200回達成、★中学生吹奏楽クリニック、★キッズワークショップ
- 24年 市民会館改修工事2013.1月～12月、★市役所ロビーコンサート、  
★「立川いったい音楽祭まつり」
- 25年 小学校フェアアート鑑賞事業等市から移管、市民会館の指定管理業務終了、  
ホームページリニューアル、市民会館リニューアルオープン、  
リニューアルオープン記念事業実施、立川市民オペラ「アイーダ」開催、  
★小学生吹奏楽クリニック、★小学校訪問事業
- 26年 開運なんでも鑑定団開催 山下洋輔市役所ライブ開催、立川市民オペラ「愛の妙薬」開催、  
★楽器の謎シリーズ、★アィム落語研究会



立川市民オペラ「アイーダ」平成26年

### 3.財団の現状と課題

財団は平成23年度に東京都より公益認定を受け公益財団法人へ移行し、平成25年度には市民会館の指定管理業務を民間に引き継ぎ、新たなスタートを切っています。

さらに、平成26年度からは事務局すべての職員が固有職員となり、より高い専門性やコンプライアンスを遵守した確実な業務執行、地域との密な連携が求められています。

また、限られた財源を有効に活用して公益的な事業を行うためにも、自主財源確保のための方策について検討が必要です。

財団の事業規模、補助金額、職員構成比較表

比較項目	平成3年度	平成18年度	平成26年度
事業総数 (ステージ事業数)	26事業 (17事業)	47事業 (20事業)	109事業 (37事業)
市補助金額 (総支出額)	315,718千円 (672,953千円)	132,843千円 (488,456千円)	152,029千円 (220,790千円)
職員数 (市職員)	19名 (15名)	16名 (4名)	11名 (0名)

#### ■課題1 立川市、東京都等、財団を取り巻く課題

- ・立川市第4次長期総合計画で描かれた将来像「にぎわいとやすらぎの交流都市 立川」、第3次文化振興計画が目指す「さまざまな文化芸術が息づき、だれもが楽しめるまち」の具現化のため、文化芸術振興の実行部隊としての役割が求められています。
- ・多摩の中心都市として発展を続け、多くの人を訪れる立川のまちが文化の香るまちであるよう、市民と協働した文化芸術活動の展開が必要です。
- ・2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えて、国や東京都の文化プログラムと連携した事業展開についても取り組みが必要です。

## ■課題2 事業についての課題

- ・子どもから高齢者まで様々な境遇で暮らす市民が、文化芸術の力で心の安らぎと明日への活力を得られるよう、公益性を意識した様々な事業に取り組むことが必要です。
- ・市民会館を拠点としながら、AIMホール、学校、地域の公共施設や商業施設など、市内各地に出向いて活動を展開することが必要です。
- ・財団の専門知識、経験、ネットワークを活用し、多様化する市民の文化芸術活動を支援して行くことが必要です。
- ・将来の立川文化を担う子どもたちが文化芸術の素晴らしさを体験する機会を充実させるとともに、日本が世界に誇る伝統文化を子どもたちに伝えていくことが必要です。
- ・立川市内の文化資源・財産を見直し活用することが必要です。
- ・さまざまな情報発信技術が発展する中、これに適した広報PR活動が求められています。

## ■課題3 財務についての課題

- ・財務体質を強化し、魅力ある事業を将来に渡り継続するため、寄付金の受け入れや企業協賛の獲得、収益事業の実施など、財源の確保の具体的方策を検討する必要があります。
- ・保有する財産の有効に活用するため、効率的な資金運用、管理の研究が必要です。

## ■課題4 組織と人材についての課題

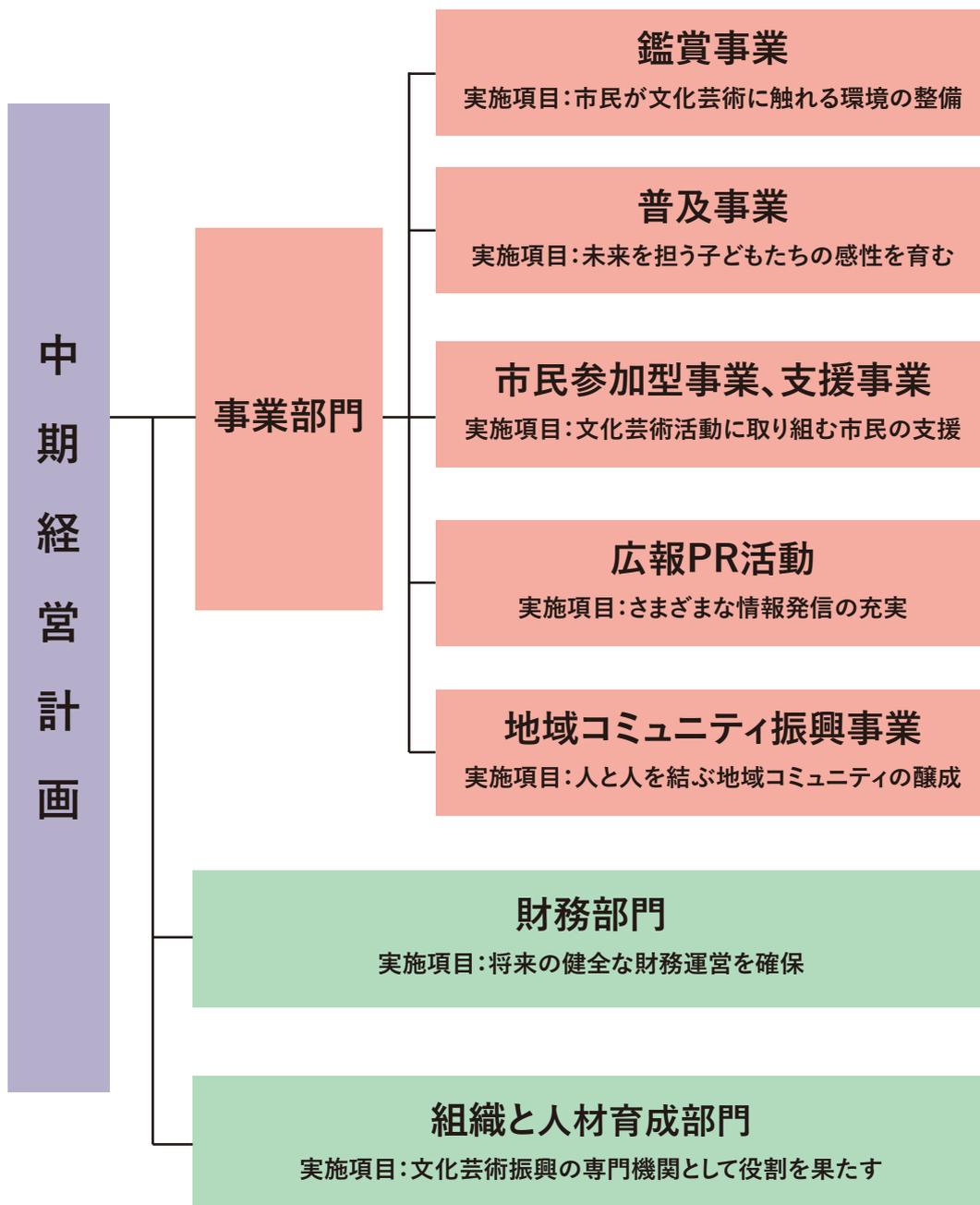
- ・財団に与えられた文化芸術振興の役割を確実に果たすため、職員の専門性を高めることと、必要な人材の確保が重要です。
- ・長年の業務で培ってきた知識やノウハウ、各種団体とのネットワークが継承されることが必要です。
- ・市民に信頼される組織であるためには、コンプライアンスの厳守や個人情報管理の徹底など、厳正な職務執行が求められています。

## 4.基本方針と施策の体系

### ■基本方針

発展を続ける立川のまちで暮らす全ての市民と立川を訪れる多くの人たちが、文化芸術のちからで笑顔あふれる日々を過ごせるよう、魅力ある事業を展開するとともに、その役割を担うに相応しい専門機関であるよう組織の充実と人材の育成に取り組みます。

### ■施策の体系



## 5.実施項目

### 【事業部門】

#### ■市民が文化芸術に触れる環境の整備（鑑賞事業）

- ・平成26年1月にリニューアルし快適な鑑賞空間となった市民会館を拠点に、国内外の一流アーティストによる演奏会、演劇公演、歌舞伎、能楽、落語などの古典芸能公演など、多様な市民ニーズに応える事業を実施します。
- ・アイムホールや市役所をはじめとする市内各施設で事業を実施し、子どもから高齢者まで全ての市民が文化芸術に触れる機会の充実を図ります。



#### ■未来を担う子どもたちの感性を育む（普及事業）

- ・市内小中学校への訪問事業、吹奏楽クリニックなどの事業を積極的に展開します。
- ・2020年東京オリンピック、パラリンピック開催を見据え、日本が世界に誇る伝統芸能の素晴らしさを子どもたちに理解してもらう事業を実施します。



#### ■文化芸術活動に取り組む市民の支援（市民参加型事業・支援事業）

- ・立川市民オペラ、たちかわ演劇祭、立川いったい音楽まつりなど、市民が自ら行う文化芸術活動を支援し、立川の文化力の向上を図ります。
- ・地域で活動するアーティストを支援する取り組みを通じて、市民と芸術家が身近な存在となるまちを実現します。
- ・リタイア世代や高齢者の生きがい作りの場として、文化芸術活動に参加する機会を提供します。



#### ■さまざまな情報発信の充実（広報PR活動）

- ・情報紙「ムーサ」、ホームページ、SNS、動画配信など多様なツールを活用し、財団事業の周知を図ると共に、市民の活発な文化活動を外部に向けて広く発信し、「さまざまな文化芸術が息づき、だれもが楽しめるまち」立川のシティイメージ醸成を促進します。

#### ■人と人を結ぶ地域コミュニティの醸成（地域コミュニティ振興事業）

- ・たちかわ楽市、立川よいと祭りの協働事務局を担い、地域の各種団体と連携し、地域コミュニティの醸成を図ります。



## 立川市第3次文化振興計画による財団関連業務の目標値を抜粋

成果指標	基準値 平成26(2014)年度末	目標値 平成31(2019)年度末
財団が展開する文化芸術事業 への来場者数	47,500人	55,000人
財団が展開する子ども対象事業 参加数	2,391人	3,000人
ロビーコンサート・水曜コンサートの 学生団体出演数(累積)	27回 ※平成25年度末	90回

### 【財務部門】

#### ■将来の健全な財務運営を確保

- ・積極的な広報、宣伝活動により入場料収入を確保し事業収支の均衡を図るとともに、収益事業収入、寄付金の受け入れや協賛金の獲得など、自主財源の増加を目指します。
- ・プロモーター、芸術団体と連携した共同事業や共催事業の誘致などを積極的に行い、効率的に事業を実施します。
- ・健全な財務運営のために、収益事業等による財源を活用した特定費用準備金の充実を図ります。
- ・安全でより高い果実が得られるよう、保有資産の運用について研究します。

### 【組織と人材育成部門】

#### ■文化芸術振興の専門機関として役割を果たす

- ・アートマネジメントや法人運営業務の能力など、公益文化財団職員に必要な知識や経験を身につけるため、各種研修や講座を積極的に活用します。
- ・財団が培ってきたノウハウや専門性を組織的に持続継承し、市民の要求に継続的に応えられる組織として体制の強化を図ります。
- ・職員倫理研修の実施により、法令違反や不正行為等のコンプライアンス違反を予防し、適正な職務の執行と公正な職場づくりを推進します。

## 6.重点取り組み項目

### ■未来を担う子どもたちの感性を育むため、様々な事業を展開します。

- ・小中学校訪問事業の充実により、音楽、ダンス、アート、伝統芸能など、すべての子どもたちが身近に生の芸術に触れる機会を提供します。
- ・東京オリンピック・パラリンピックを見据え、日本が世界に誇る伝統芸能の素晴らしさを子どもたちに理解してもらう事業を実施します。また、子どもたちが世界の様々な文化に触れる機会も提供します。
- ・鑑賞事業と連動したキッズワークショップなどにより、より多くの子どもたちが、幼児のうちから音楽やアートを体験できる場を提供します。
- ・様々な境遇で暮らす子どもたちが等しく文化芸術に親しむことが出来るよう、小学校演劇体験事業、一人親家庭招待、格安の親子割引などを継続します。

### ■文化芸術活動に取り組む市民を支援し、文化の香りあふれる「にぎわいとやすらぎの交流都市たちかわ」をめざします。

- ・立川市民オペラ、立川いったい音楽まつり、たちかわ演劇祭、たちかわアートギャラリー展など、市民参加型の事業を継続実施します。
- ・立川市民文化祭をはじめとする市民団体との共催事業を通じて、文化団体、地元アーティストへの支援と連携を図ります。
- ・地元文化人、文化団体、自治会や経済団体とも連携を強化し、長期的継続的な協力関係を築き、事業協力や共同事業などに取り組みます。
- ・立川市と協定を締結している国立音楽大学をはじめ、大学、高校などの教育機関とも連携を図ります。
- ・絵画展、音楽コンクールの実施、ロビーコンサートの開催など、アーティストの飛躍と活動の場を提供します。

### ■文化芸術振興の専門機関としての役割を確実に効率よく果たすため、人材を育成し、組織の強化を図ります。

- ・専門的知識に基づき事業を企画・運営するためのアートマネジメント研修、公益法人会計や運営のための研修、コミュニケーション能力を高める研修、職位に応じた研修等、積極的な受講促進を図ります。
- ・事業部門、管理部門それぞれのノウハウや専門性を組織的に持続継承するため、職員内部によるOJT研修等を行い、組織体制の強化を図ります。
- ・職員倫理研修の実施により、法令違反や不正行為等のコンプライアンス違反を予防し、適正な職務の執行と公正な職場づくりを推進します。

## 7.財団の未来と可能性について

### ■市民のさまざまなニーズに応える柔軟な組織を目指します。

日々変貌する社会情勢の中で市民や地域からのあらたな要求や期待に応えるため、新規事業の研究や組織の検討などを進め、柔軟性と敏捷性を兼ね備えた財団を目指します。

### ■多摩の中心都市、立川を拠点に広域的な事業を展開します。

多くの人々が訪れ交流するまちとなった立川を拠点とする財団として、周辺地域も巻き込んだ事業展開を目指し、国や東京都、その外郭団体、多摩公立文化施設協議会加盟団体や他市文化団体などとの協力連携を積極的に進めます。

### ■文化芸術が持つ力で、様々な分野での社会貢献を目指します。

教育や福祉、まちづくりや地域コミュニティ振興、国際交流など、様々な分野で文化芸術をキーワードに財団が持てる専門性を発揮して役割を果たします。



小学校ファーレ立川アート鑑賞事業

# 資料編

資料1	公益財団法人立川市地域文化振興財団中期経営計画策定委員会名簿	12
資料2	公益財団法人立川市地域文化振興財団中期経営計画策定委員会要綱	13
資料3	公益財団法人立川市地域文化振興財団定款(抜粋)	14
資料4	財団の事業規模、決算額、補助金推移	15

## 公益財団法人立川市地域文化振興財団中期経営計画策定委員会名簿

		氏名	所属
1	委員長	新海 きよみ	財団常務理事
2	委員	志村 順子	財団理事
3	委員	河村 勝久	財団評議員
4	委員	渡辺 昌明	財団事務局長
5	委員	足立 香織	財団文化事業係長
6	委員	加登 義哉	財団管理係長
7	委員	小林 誠二	財団主査
8	委員	岡本 珠緒	立川市地域文化課長

## 公益財団法人立川市地域文化振興財団中期経営計画策定委員会

第1回 平成27年7月10日(金)開催

第2回 平成27年8月31日(月)開催

第3回 平成27年10月15日(木)開催

第4回 平成28年1月27日(水)開催

## 公益財団法人立川市地域文化振興財団中期経営計画策定委員会要綱

### (目的)

第1条 この要綱は、公益財団法人立川市地域文化振興財団(以下「財団」という。)中期経営計画(以下「中期経営計画」という。)の策定を行うため、中期経営計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)を設置し、組織及び運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

### (所掌事項)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事項を行う。

- (1) 中期経営計画の作成に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、必要と認められること。

### (組織)

第3条 策定委員会は次の各号に掲げるメンバーにより構成し、委員長は常務理事とする。

- (1) 財団常務理事
- (2) 財団理事 1名
- (3) 財団評議員 1名
- (4) 財団事務局長
- (5) 財団事務局係長・主査
- (6) 立川市地域文化課長

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、中期経営計画の策定作業が終了する日までとする。

### (報酬)

第5条 委員の報酬は、財団の評議員、理事及び監事の報酬及び費用に関する規則に従い支払うものとする。ただし、市、財団の身分を有する委員を除く。

### (その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会について必要な事項は、協議し定めるものとする。

### 附則

この要綱は、平成27年7月1日から施行する。

## 公益財団法人立川市地域文化振興財団定款(抜粋)

### 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人立川市地域文化振興財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を東京都立川市に置く。

### 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、市民の文化向上及び福祉の増進を図るため、地域文化及び文化芸術の振興に関する事業を推進し、もって地域社会の発展及び健康で豊かな市民生活の形成に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 文化芸術の鑑賞に関する事業
- (2) 文化芸術活動の普及及び支援に関する事業
- (3) 地域コミュニティの活性化及び振興に関する事業
- (4) 立川市から受託する施設の管理に関する事業
- (5) 前号の施設を利用する市民等へのサービスに関する事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 前項の事業は、東京都において行うものとする。

以下につづく

第5条 ……………

# 資料4

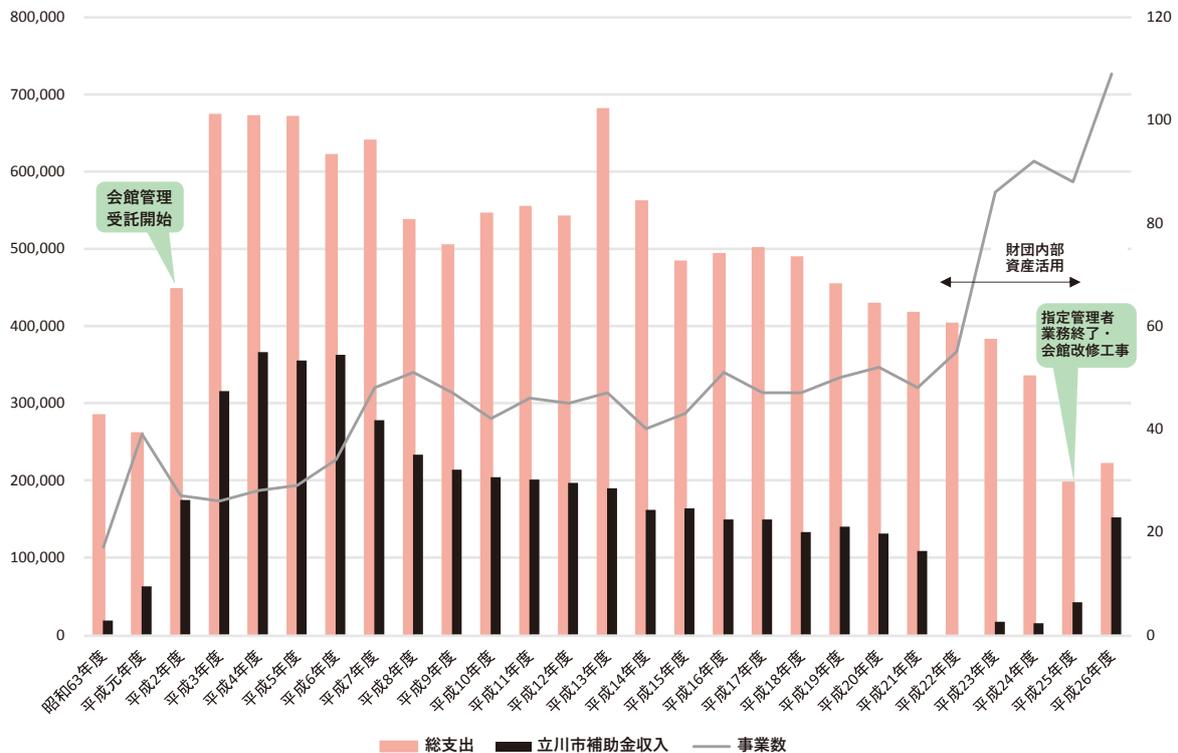
## 財団の事業規模、決算額、補助金推移

[単位：千円]

年度	事業数	スポレク事業等	市民参加型事業	その他の主な事業	総支出	立川市補助金収入	市民会館受託収入
昭和63年度	17	教室等2回		コミュニティ論文募集	283,764	18,432	4,339
平成元年度	39	教室等5回 宿泊ハイイク1回		文化講演会 コミュニティ論文募集	260,550	62,664	5,580
平成2年度	27	教室等2回 サイクリング ゴルフ大会 宿泊ハイイク1回	たちかわ写真展	文化講演会 コミュニティ論文募集	447,408	174,631	67,500
平成3年度	26	日帰りハイイク2回 宿泊ハイイク3回 ゴルフ大会	たちかわ写真展	文化講演会 コミュニティ論文募集	672,953	315,718	147,658
平成4年度	28	日帰りハイイク2回 宿泊ハイイク3回 ゴルフ大会	立川写真展 市民オペラ 演劇祭	文化講演会 コミュニティ論文募集	671,139	366,216	170,560
平成5年度	29	日帰りハイイク2回 宿泊ハイイク4回 ゴルフ大会	演劇祭、演劇学校 多摩フレコン アートギャラリー展	地域文化事業4回	670,353	355,147	175,626
平成6年度	34	日帰りハイイク4回 宿泊ハイイク4回 ゴルフ大会 凧上げ大会	世界子ども音楽祭 演劇祭、演劇学校 多摩フレコン アートギャラリー展	地域文化事業8回	620,917	362,716	201,114
平成7年度	48	日帰りハイイク4回 宿泊ハイイク5回 ゴルフ大会 凧上げ大会	演劇祭、演劇学校 市民オペラ 多摩フレコン アートギャラリー展	地域文化事業7回 水曜コンサート9回	639,700	277,956	216,083
平成8年度	51	日帰りハイイク4回 宿泊ハイイク4回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 多摩フレコン アートギャラリー展	地域文化事業7回 水曜コンサート12回	536,724	233,285	240,934
平成9年度	47	日帰りハイイク6回 宿泊ハイイク2回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 多摩フレコン アートギャラリー展	地域文化事業5回 水曜コンサート12回	504,264	213,657	240,615
平成10年度	42	日帰りハイイク6回 宿泊ハイイク1回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展	地域文化事業4回 水曜コンサート12回	544,815	203,971	240,010
平成11年度	46	日帰りハイイク6回 宿泊ハイイク2回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展	地域文化事業4回 水曜コンサート12回	553,885	200,811	228,440
平成12年度	45	日帰りハイイク5回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展	水曜コンサート12回 高齢者のつどい	541,430	196,647	222,005
平成13年度	47	日帰りハイイク5回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 多摩フレコン アートギャラリー展	水曜コンサート12回 演劇鑑賞教室 高齢者のつどい	680,466	189,650	227,343
平成14年度	40	日帰りハイイク4回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 市民オペラ学校	水曜コンサート12回 演劇鑑賞教室 高齢者のつどい	560,873	161,628	228,644
平成15年度	43	日帰りハイイク4回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 市民オペラ学校	水曜コンサート12回 演劇鑑賞教室 高齢者のつどい	482,911	163,575	225,691
平成16年度	51	日帰りハイイク4回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 市民オペラ学校 ストリートミュージシャンフェス	水曜コンサート12回 演劇鑑賞教室 高齢者のつどい コミュニティステージ5回	492,903	149,361	211,613
平成17年度	47	日帰りハイイク4回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展	水曜コンサート12回 演劇鑑賞教室 高齢者のつどい コミュニティステージ5回 ファレアート修復再生事業	500,305	149,246	211,507
平成18年度	47	日帰りハイイク4回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 演劇体験事業	水曜コンサート12回 高齢者のつどい コミュニティステージ6回 ファレアート修復再生事業	488,456	132,843	211,287
平成19年度	50	日帰りハイイク4回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 演劇体験事業 多摩フレコン まちおんフェスティバル 市民オペラ	水曜コンサート12回 演劇体験事業 高齢者のつどい コミュニティステージ8回	453,546	139,953	211,108
平成20年度	52	日帰りハイイク3回 凧上げ大会	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 演劇体験事業 多摩フレコン まちおんフェスティバル おとなバンドフェスティバル 中学生吹奏楽クリニック	水曜コンサート12回 演劇体験事業 高齢者のつどい コミュニティステージ6回 文化芸術のまちづくり協議会	428,237	131,132	205,913

年度	事業数	スポレク事業等	市民参加型事業	その他の主な事業	総支出	立川市補助金収入	市民会館受託収入
平成21年度	48	日帰りハイク1回 凧上げ大会 大町交流事業	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 演劇体験事業 多摩フレコン おとなバンドフェスティバル 中学生吹奏楽クリニック 市民オペラ	水曜コンサート12回 演劇体験事業 高齢者のつどい コミュニティステージ4回 文化芸術のまちづくり協議会 春・秋の楽市 よいと祭り	416,746	108,312	209,462
平成22年度	55	凧上げ大会 大町交流事業	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 演劇体験事業 多摩フレコン おとなバンドフェスティバル 中学生吹奏楽クリニック	水曜コンサート12回 演劇体験事業 高齢者のつどい コミュニティステージ 8回 文化芸術のまちづくり協議会 春・秋の楽市 よいと祭り	402,784	0	197,644
平成23年度	86	凧上げ大会 大町交流事業 美術館訪問事業	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 演劇体験事業 多摩フレコン おとなバンドフェスティバル 中学生吹奏楽クリニック 市民オペラ	水曜コンサート12回 演劇体験事業 高齢者のつどい どこでもステージ20回 文化芸術のまちづくり協議会 春・秋の楽市 よいと祭り アーティスト支援事業 キッズワークショップ10回 市役所コンサート4回	381,533	16,601	184,254
平成24年度	92	凧上げ大会 大町交流事業 美術館訪問事業	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 演劇体験事業 多摩フレコン 小中学生吹奏楽クリニック いったい音楽まつり	水曜コンサート12回 演劇体験事業 高齢者のつどい どこでもステージ10回 文化芸術のまちづくり協議会 春・秋の楽市 よいと祭り アーティスト支援事業 キッズワークショップ10回 市役所コンサート12回	334,208	14,778	146,777
平成25年度	88	凧上げ大会 大町交流事業 美術館訪問事業 歌舞伎鑑賞事業 文楽鑑賞事業	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 演劇体験事業 多摩フレコン 小中学生吹奏楽クリニック いったい音楽まつり 市民オペラ	水曜コンサート12回 演劇体験事業 高齢者のつどい どこでもステージ10回 たちかわ楽市 よいと祭り アーティスト支援事業 キッズワークショップ等20回 市役所コンサート12回 小学校ファールアート鑑賞教室	196,585	42,034	8,528
平成26年度	109	凧上げ大会 大町交流事業 美術館訪問事業 文楽鑑賞事業	演劇祭、児童合唱団 アートギャラリー展 演劇体験事業 小中学生吹奏楽クリニック いったい音楽まつり 市民オペラ	水曜コンサート12回 演劇体験事業 高齢者のつどい どこでもステージ20回 たちかわ楽市 よいと祭り アーティスト支援事業 キッズワークショップ等14回 市役所コンサート12回 小学校ファールアート鑑賞教室	220,790	152,029	0

〔単位：千円〕 立川市地域文化振興財団の年度別総支出、立川市補助金収入、事業数の推移 〔単位：事業数〕



文化とあなたの懸け橋に



TACHIKAWA

公益財団法人立川市地域文化振興財団 中期経営計画  
平成28年2月25日発行

発行 公益財団法人立川市地域文化振興財団  
〒190-0012  
東京都立川市錦町3-3-20  
たましんRISURUホール(立川市市民会館)2階  
電話 042-526-1312  
FAX 042-525-6581  
ホームページ <http://www.tachikawa-chiikibunka.or.jp/>